日本ボーイスカウト京都連盟

京都第38団育成会

年次総会・資料

1994

平成 6年 11月 13日(日)

18:10 開会

於 団本部 ハウス長 休 広 間

総会終了後　団懇親会 於「ひょうたん」上立売通寺町西入

年次総会次第 及び 議　案

開 会 式

1，開式の言葉
2，国旗儀礼
3，礼拝
4，物故者黙祷
5，閉式の言葉

会　　議

1，団委員長挨拶
2，議長・副議長の選出
3，議長挨拶
4，記録係の任命

議　　案

①平成６年度各隊活動、団行事報告。
②平成６年度収支決算報告。
③平成６年度各隊指導者並びに団委員の解任。
④平成６年度顧問、育成会長、会計監査の選出。名誉会員の推薦。
⑤平成７年度団委員並びに役務分担承認、並びに委嘱状の伝達。
⑥平成７年度各隊指導者選任報告、並びに委嘱状の伝達。
⑦平成７年度活動計画について。
⑧平成７年度収支予算について。
⑨その他。

閉 会 式

1，開式の言葉
2，顧問の話
3，礼拝
4，国旗儀礼
6，閉式の言葉

ご挨拶

三指

常日頃育成会の皆様には、京都３８団の育成にご協力賜り厚くお礼申し上げます。

団委員長を中心に団委員、各隊リーダーの並々ならぬご尽力により、団も立派な団として育っている事を感謝申し上げます。

今年度も、各隊の上進者は満足出来る数と聞いております。大変喜ぶべきことと思います。

ここで、団創設者故小川玄諦先生のお言葉を皆様にお伝えいたします。

『スカウティングでは自と他、関係に関係する関係に生きる在り方を「ちかい」に明示されています様に、最も大切な訓育方法は、自発活動に基く自己訓育、即ち集会が終わっての解散から次の集会までの訓育と申します。
そのことは家庭におけるスカウトとしての自己自身の生活を重要視致しますからです。即ちスカウト訓育での集団訓育（班制、隊）は手段であって目的ではなくあくまで個の訓育です。集団教育ならば、週に一度、二時間程度の集会でどんな教育が出来るのでしょうか。そのために、スカウト訓育にあっては、個人のＰｒｏｊｅｃｔ（計画、工夫、実行、反省、評価）と申しますがスカウト一人一人が自発的に、スカウトとしての生活内容を父兄の協力の下に行うものであることなのです。そのために、個人のＰｒｏｊｅｃｔに糸口あたえられるＰｒｏｇｕｒａｍｕを必要といたします。（このことが、リーダーにあって心すべきことなのですが。）解散から集会まで、これを抜いては訓育は難しいことになりますし父兄の協力の意識、理解の大切さがここにあります。その為に育成会の重要性がうたわれています。』

最近の世界情勢で貧困に苦しむ国の多い事は皆様にもご存じのことと思いますが、民族、宗教の違いがその大なる原因となっている様です。これからのスカウト運動は、国際的な視野に立って青少年を育成せねばならないと思います。その様なことで世界的組織をもつボーイスカウト活動の存在は、大変意義のあるものと位置付けし、皆様の御子息達に将来を託し、今後の日本いや世界の為に役立つ人になって頂くためにも、スカウト活動にご理解とご協力を賜ります様お願い申し上げまして、ご挨拶と致します。

弥栄

平成６年１１月１３日

育成会長　　西村泰一

御　挨　拶

菊薫る候　３８団育成会　団委員会　各隊指導者の皆様におかれましては、益々　御健勝のことと心より御慶び申し上げます。

今年の夏は厳暑に見舞われ、雨少なく日照りの毎日、そんな中でのスカウト達の一年の総仕上げである訓育が、カブ隊は田村神社での舎営、ボーイ隊は滋賀県仏性野でのキャンプと九州での１１回日本ジャンボリー参加、シニァー隊は北海道への遠征と、団全体では日本を縦断的に活動したことになりました。　スカウト達は充実し野外活動を満喫してくれたことと思います。

また、１１月５日には、上進式が行われ、スカウト達は決意（不安もあろうが）を胸に、先輩スカウト達が歩いた道を求めて、上進して参りました。　この上進式を持ちまして、今年度の全行事をつつがなく終了させていただきました。これもいとえに各隊指導者団委員会　育成会各位のご尽力の賜物厚く感謝申し上げます。

当３８団は、平成６年に創団３５周年を過言なく過ごすことができました。　この３５年の歴史は、故小川先生とスカウト、スカウターそして、先輩育成会各位の御奮闘とご奉仕に寄るものと感謝致すと共に、伝統あるサンパチの継承と更なる発展を誓うものであります。　どうか指導者の方々には、スカウトの道を研鑽していただきますと共に、育成会　団委員会においては、指導者を全面的にバックアップしていただく事が、スカウト達の訓育へ基本であろうと思います。　平成７年度も宜しく、ご奉仕をお願い申し上げます。

平成６年１１月１３日

団委員長　　下　坂　紀　一

一年を振り返って

長年、カブ隊のリーダーをしてきて今回初めて隊長と言うことで自信がなかったのですが、しっかりした副長を３人もつけて頂き、全面的にバックアップして頂き、隊長とは名ばかりでしたが何とかお蔭様で１年を終えることができました。

隊長として何をしたらいいのか？という想いと、うれしいという想いが入り交って、とにかく僕なりに一生懸命やれたと思っています。

今年は去年よりも、外へ外へ出るプログラムが多くて、かなりハードなものもありました。夏キャンプでは猛暑の続くなか、スカウト達の健康は充分心がけ楽しく終えることが出来るのだろうかと心配していました。リーダー会議等も、副長や副長補、それに若いリーダーが応援もしてくれたからだと思います。

結果としては、そんな事なく元気なスカウト達に感心したことでした。

今年１年が過ぎ、いろいろ反省することも多々ありますが、来年はより一層充実したプログラムが出来るよう、次のリーダーに期待している次第です。

最後となりますが、１年間御奉仕、御協力をして下さった育成会の方々、各隊本部に感謝いたしますと共に、楽しい１年間の経験をありがとうございました。

カブスカウト隊　隊長　西脇 孝典

日本ボーイスカウト京都第３８団カブ隊

平成７年度　年間活動プログラム

（6．9．28）

月	テーマ	内容	目標	実施場所	さわがに担当	優秀賞担当	備考
12	舞い上がれ 僕らの希望	凧作り	工作	出雲路橋西詰			1/ 8(日)
1	白銀は招くよ	雪中ハイク	いつも元気	北山方面			2/ 5(日)
2	都会の自然を求めて	サイクリング	体力作り	御所			3/ 5(日)
3	(キャンプのテーマ)	一泊キャンプ	基本	花背山の家			4/ 1(土) ~ 2(日)
4	クッキングスカウト	野外料理	準備	静原キャンプ場			5/ 7(日)
5	(カブラリーのテーマ)	カブラリー	友情	(未定)			(未定)
6	グリーンパワー	自然教室 PARTⅠ	自然保護	植物園			7/ 2(日)
7	(キャンプのテーマ)	夏季キャンプ	協力	芦生			7 28(金) ~31(月)
8	動物はともだち	自然教室 PARTⅡ	動物愛護	動物園			9/ 3(日)
9	たすきをつないで	お別れ隊集会	記録	鴨川周辺			10/ 1(日)
10	資源を守れ	施設見学	観察	清掃工場・温水プール			11/ 5(日)
11	目指せ救急救命士	救急法	安全	ハウス長休			12/ 3(日)

※京都連盟８０周年記念カブラリー：８／５～６（大久保駐屯地）

集会・会議予定

月例隊集会	原則として毎月第１日曜日
母の会	隊集会直後の木曜日　19:30 ～　（終了後リーダー会議）
団会議	原則として毎月第１日曜日　20:00 ～
本部会議	原則として毎月第２日曜日　19:30 ～
その他	デンコーチ会議，組長・組次長会議，テーマ委員会，父の会（随時）

隊長として

ボーイ隊隊長　今井　喜明

去年の今ごろは隊長という仕事がこれほど大変なものとは知らず、ただ単に理想ばかり追いかけていた。現在も理想を持つことに変わりはないが、今日までの隊長初体験は並大抵のものではなかった。ただ、この若輩ものの大きな支えとなったのは、２名の副長のおかげである。入矢氏には決断の際の良きアドヴァイスに助けられ、河合氏には物事に対する新鮮さとやる気にこちらも奮起させられた。もちろん、シニアもしかりである。実質的な企画は彼らが主体になってやってくれたところが多い。今年一年、本部全員がいたらない隊長を助けてくれた。

私が隊長をしての苦労や、今井が隊長になっての本部の迷惑話は、本年度の年間活動報告書を参照して頂きたい。しかし、やはり報告書や感想文には出ない苦労も各自様々持っている。その苦労の分、私たちは充実して活動できたことを今となってはうれしく思っている。

もちろん、満足なばかりの一年間であった訳ではない。総じて欠点を上げるならば、隊集会の企画のバランスが悪い。ハードだが楽しい隊集会がある一方、楽でだらけてしまう隊集会などばらつきが目立った年でもある。今後は一年間を通してバランスの良い隊集会にしたいものだ。

今年は発見が多い年であったとしみじみ思う。特に、５月に実修所に入所し、そこでの発見、またそこから生まれた疑問を原隊に帰ってから発見したこと様々である。ただ、自分への当初からの課題がまだ、消去できていない。それは、隊長としてスカウトに対する姿勢である。私自身のキャラクターではあるもののもっと優しく、どっしりかまえていることが出来なかった。「隊長としての態度」。これをもっと考えなくては行けない。

最後に、今年も問題点になった「指導者不足」に付いて、今後も課題を残す。今年の本部全員良くやってくれたが、やはり長年やっているせいもあって、だらけがあることはいやめない。そこで必要となってくるのは、ＲＳやそれ以上の指導者の確保である。その意味でも、夏キャンプでのＲＳの奉仕は大変助かった。今後は、臨時ではなくＢＳ本部の一員として活躍することを強く要望する。また、団員や保護者の方々の絶大な理解と協力には、言い表せないほどの感謝を持っている。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

平成７年度　ボーイ隊年間プログラム

月	訓練内容	テ　ー　マ	行　事
１１	基　本	一番しぼり	報恩講
１２	団行事	『サンパチ屋台村』（案）	ちかいの式 団行事
１	結索・通信	ボーイはつらいよ 新入　心の俳句	新年の集い
２	雪中ハイク 救急・簡易料理	寒いんだナー これが	
３	春季キャンプ	『　　未定　　』	
４	観察・計測 サイクリング	特捜 計察官	
５	野外料理	ｈｕｎｇｒｙ？	
６	救急・観察・結索	ｅｙｅしてる	
７	備品整理・竹工作	ちゃんとちゃんとの 夏キャンプ	
８	夏季キャンプ	『　　未定　　』	京都キャンポリー
９	通信・計測	ツーと泣けば ケーと鳴く？	
１０	体力作り	ふぁいと～ いっぱぁ～つ	上進式

※隊集会は、原則として月の最終日曜に行う。

行事予定は　平成6年１１月　７日現在のもの。

シニアー活動はどこに？

サンパチシニアの行方は？（1994）

SSL 末吉央伯

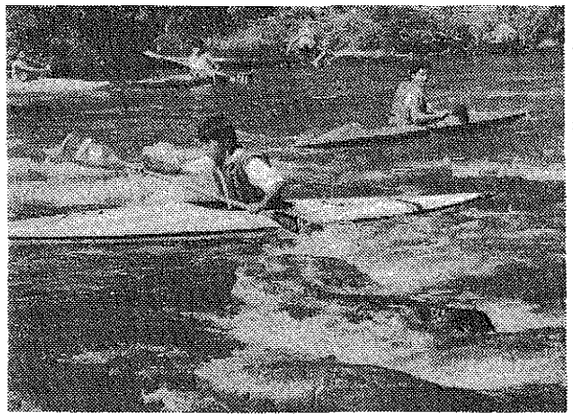
今夏には久しぶりに北海道へ移動キャンプを実施したが、中味を隊長は高く評価出来ないでいる。それはスカウトが若さを失っていると思うからである。つまりなにかにつけ、楽を求める様子が伺える。それは苦労をして始めて得られる喜びを見出だしていないことを残念に思うからだ。

今年、団から新しくドームテントはじめガスコンロ等を備品として購入して頂き、それらを活用すべく、６月に広河原野営場で２泊３日の固定キャンプを実施した。期間中、アマゴの薫製作りや、伏条台杉探査等が行ったが、そのときにいささか面倒なことや、苦しいことを経てはじめて楽しさが得られることの体験をしたはずなのだが、それが生かされてないと思う。

パラシュートハイクに始まって、カワセミハイクに終わるシニア隊の活動が、今年はカワセミハイクが参加可能者１名ということで、中止となって何か締めくくりの無いものを感じるのは、隊長だけなだろうか。

自主的でなく、やらされているという活動はもう卒業して欲しいものだと、いつも期待してはいるのだが、隊長がうるさくいうのでレポートを提出するとか、計画に揚げていたから、ではやりましょうかと、何か他人事のような取り組みが多いように思われてならない。

しかし何も要求しないかと思えば、けっこう楽をするためのアイデアだけは持ち出して来る。それはそれで悪いことではないのだが、それに理解を示しても、最低のやるべきこと(権利に対する義務というようなもの)がおろそかになってしまっているのではないだろうか。



カヌーはなんどやっても面白い。9/18

次期の隊長に「榎本信也氏」をお願いし、快くお引き受けくださっているが、今の状態では、なんともご苦労をお掛けするようで心苦しい。

何といってもシニアー活動は面白くなくて何が活動と言えるだろうか。小生自身隊長としてスカウトたちにその入口を多く紹介して来たつもりだが、今のところ鳴かず飛ばずというところ。次の榎本隊長に見守って頂き、本当のシニアリングが始まるのを気長に待つといたしますかな。

No.

'94 SS 夏季移動キャンプ報告書より　Date '94 11 6 提出

感想　（原文のまま）　報告者　出口浩平

自分にとってはシニアー隊で初めてとなるシニアー遠征。
高校1年生の時に日本ベンチャー、2年生の時にアメリカ派遣とチャンスにめぐまれ、3年生の今、やっと遠征企画、実施することができた。
B.S隊の時とは異り、シニアー隊では自分達で何もかもをしなくてはならない。無論やりたくなければしなくてもよいのだが、半分隊長に尻をつっつかれながらどうにか実施することができた。
当初、隊長が瀬戸内海に浮かぶ無人島に行ってはみないかということで遠征が決まっていたが、「隊長ばかりにたよっていてはいけない、自分達の力でやってみよう。」とすばらしい考え?のもとで伊藤良業君を中心として僕を含む計六人で北海道遠征の計画を進めていった。
計画の段階では計画書は七月の頭には提出することになっていたが、日頃から反省しなければならない、なまけグセと初めて経験する全行程の計画ということもあり、出発日の数日前の計画書提出となってしまった。
そして、遠征が終わって1ヶ月以上たった今、こうして感想を書いているが、ほとんど反省文になっている。自分のけじめのなさにほとほと反省している。
北海道遠征中は、今ふり返ってみると反省することがたくさんあった。
一番反省する点は、やはり、お金を計画的に使わなかったことだろう。国から1人当り、40000円という補助金をもらっておきながら会計報告を見ると1人当り、7000円以上もの赤字を出してしまった。
二番目に反省する点は、起床である。みんな気が抜けていたのか、毎日のように朝食を定時にとらず、駅で食べていたり、食べずじまいだった時もある。そして寝ぼうした結果、タクシーを使用するということになってしまい、無駄なお金をかさむことが非常に多かった。
遠征前に、角井副長から「遠征を10に例ると計画と実施の比率は何対、何か」という質問をされた時、僕は計画が5で実施も5と答えていた。その時、副長に指摘されたことは、「それでは、この遠征も失敗に終わるな。」と言われた。計画は比率にして、10の内8割か9割をしめ、実施はいいとこ2か1だと副長にいわれた時のことが、今になってはじめてわかった。僕達は自分の心に明日の計画をもたなかったため数多くの失敗をおかしたのだと思う。
明日にそなえ、真剣に明日のためのミーティングを行っておけば、失敗は最小限におさえられたと思う。自分にとっては最初で最後の遠征だったが、後輩スカウトには、この失敗をくり返さないようにしてもらいたいと思う。

一年を振り返って

ローバー隊チーフ　河北孝平

この一年は、チーフを任されてすぐに、小川先生の追悼式があるなど、いろいろな大きな行事が続きかなり大変な思いをしたが、下坂君や今井君、徳岡君たちの協力により何とか乗り切ることができ、感謝している。

しかし毎週行っている隊集会は、いつもの決まったメンバーしか参加せず他のメンバーはバイトなどで全く参加できないという状況なので、シニアから上進してくる三人に期待したい。

一年間の活動で印象に残っていることは、ボーイ隊のキャンプに参加したことだ。

最初に一泊して最後の撤営に参加しただけだが、これだけでかなり疲れた。やはり部外者がキャンプにだけ参加するのは、いろいろ気を使うことになり大変しんどい。わざわざ参加してくれた千種君、徳岡君、下坂君には感謝している。

いろいろと書いてきたが、やるからには気合いをいれてやるので宜しくお願いします。

以上

No.

Date

野営行事委員会

平成5年

12月19日(日)　団行事参加.

平成6年

4月7日(木)　北小地区BSラリー説明会　今宮神社

4月17日(日)　北小地区BSラリー安全係手伝い　吉田小公園

6月26日(日)　ハウス広場清掃参加　ハウス長休

8月21日(日)　BS隊夏キャン用施設資材トラック積込み・輸送　ハウス長休　仏生野野営場

8月27日(土)　BS隊夏キャン撤営・輸送　仏生野野営場　ハウス長休

以上　ご報告致します。

ご支援、ご協力有難うございました。

西口康代

組織拡張報告

1）平成6年2月20日　下記のとおり申請登録をする

団委員	21名
カブスカウト	29名
ボーイスカウト	21名
シニアスカウト	13名
ローバースカウト	18名
維持会員	19名
合　　計	121名

2）8月を除き　毎月第2日曜日　団委員会開催

以上

報告者　徳岡

健康安全担当報告

1．保険加入ついて

加入保険：普通障害及び賠償保険

加入期間：平成5年12月19日
～平成6年12月19日

加入人員：126名

取扱代理店：西陣・小川

保険申請：1件（障害）

以上

報告者　板谷

指導者養成委員会の報告

平成5年度 第7回ボーイスカウト指導者講習会

平成6年 3月20日～21日 1泊2日 於 指月林

主任講師 西村伸次

受講者 南 忠治郎

W.B(ウッドバッチ)研修所SS課程京都第11期

平成6年5月5日～8日 於 広河原

北山地区担当 奉仕 38回3名 {下坂紀一 八木生次 西脇香代子

平成6年 第2回ボーイスカウト指導者講習会

平成6年 5月28日(土)～29日(日) 1泊2日

於 指月林

主任講師 末吉央伯

受講者 西脇淳人

国委員・指導担当

西脇香代子

進歩担当報告

年.月.日.	進級章	氏名	場所
5.12.17.	初級面接	山本耕平. 岡本建太郎 カンネベルグ バトリック 川合敏晃 江本充 中沢真宏 福井和明.	ハウス長休寺
5.11.13.	2級面接	江本務, 吉田普厚 北野義和.	ハウス長休寺
5.12.17.		山田哲央 山本平	
6.1.29.		阿原求尚 西口曜平 西野恵太	
5.12.17.	1級面接.	西村直久. 山田泰央	ハウス長休寺
6.3.24.		江本務 月里達也	
5.12.16.	菊面接	末吉裕太 八木創平 江本勝	今宮神社 (地区面接)

技能章	八木	出口	伊佐	山本亮	江本勝	山田泰	西村
オリエンテーリング	5.10.11.	10.11.					
カヌー				5.11.24	11.24	11.24.	11.24.
わらエ		6.1.20	1.20.				
野営管理	6.6.12	6.12					
沿岸視察	10.27.	10.27.	10.27.	10.27.			
鳥類保護	10.27.	10.27.	10.27.	10.27.			
剣道	10.31.						

カヌー章 6.10.14. BS末吉.八木.

進歩担当. 服部弘子. 出口善子.

財政担当報告

育成会費及び年間行事費の納入は毎月５日に
京都銀行　出町支店にて自動引き落としになっております。
前日までに各自の残高をお確かめの上、ご入金頂きますよう
今後共ご協力お願い申し上げます。

育成会費及び年間行事費

	ＣＳ隊	ＢＳ隊	ＳＳ隊
育成会費(1ヶ月分)	1,500円	1,500円	1,500円
年間行事費(1ヶ月分)	2,000円	2,000円	1,500円
合　　計	3,500円	3,500円	3,000円

＊同一保護者で二名以上のスカウトが在籍する場合、
２人目以上は育成会費を５００円控除した金額を
納めて頂きます。

財政　岡本　佳子
丹羽　武

団財政明細

平成６年９月３０日現在

摘　要	金　額	摘　要	金　額
普通預金	1,045,812	団積立準備金	2,200,000
定期預金	2,238,518	団備品購入引当金	300,000
郵便振替口座	209	緑化募金還付積立金	160,361
現金	4,785	道標修理費預り金	52,846
立替金	40,000	繰越金	616,117
計	3,329,324	計	3,329,324

積立金等明細

平成６年９月３０日現在

摘　要	前年度繰越金	本年度積立金	本年度支出	次年度繰越金
団積立準備金	2,200,000	0	0	2,200,000
団備品購入引当金	300,000	0	0	300,000
緑化募金還付積立金	139,365	20,996	0	160,361
道標修理費預り金	51,539	1,307	0	52,846
計	2,690,904	22,303	0	2,713,207

上記の通り報告致します。

団会計　丹羽　武

平成６年度第３８団育成会会計報告

自　平成５年１０月１日～至　平成６年９月３０日

（単位：円）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
団積立準備金	2,200,000	登録費	403,200
団備品購入引当金	300,000	保険料	85,400
緑化募金還付積立金	139,365	ハウス管理費	207,900
道標修理費預り金	51,539	団行事費	147,917
入団諸費	14,000	団備品費	134,265
育成会費	748,000	研修補助費	45,340
各隊年間行事費	1,098,500	活動援助費	307,418
内（ＣＳ隊）	(478,000)	各隊年間行事費	1,017,453
（ＢＳ隊）	(436,000)	内（ＣＳ隊）	(384,250)
訳（ＳＳ隊）	(184,500)	（ＢＳ隊）	(461,403)
維持会費	399,000	（ＳＳ隊）	(171,450)
賛助会費	10,000	訳（ＲＳ隊）	(0)
預金利息	74,107	慶弔費	15,150
雑収入	16,120	交際費	20,000
緑化募金還付金	17,208	印刷費	95,944
		会議費	13,648
		団事務費	37,289
		団積立準備金	2,200,000
		団備品購入引当金	300,000
		緑化募金還付積立金	160,361
		道標修理費預り金	52,846
前年度繰越金	792,059	次年度繰越金	616,117
計	5,859,898	計	5,859,898

上記の通り相違ないことを報告致します。

平成６年１０月１０日
団会計　丹羽　武

平成６年度の会計を監査した結果、帳簿．証拠書類共に
相違ないことを確認しました。

監査人　園田隆三

監査人　西山豊太郎

平成７年度第３８団育成会会計予算書（案）

自平成６年１０月１日～至平成７年９月３０日

（単位：円）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
入団諸費	12,000	登録費	400,000
		保険料	85,000
育成会費	750,000	ハウス管理費	210,000
		団行事費	150,000
各隊年間行事費	1,120,000	団備品費	80,000
内（CS隊19名）	(450,000)	研修補助費	50,000
（BS隊18名）	(440,000)	活動援助費	300,000
訳（SS隊13名）	(230,000)	各隊年間行事費	1,180,000
		（ＣＳ隊）	(450,000)
維持会費	300,000	内（ＢＳ隊）	(440,000)
		訳（ＳＳ隊）	(230,000)
		（ＲＳ隊）	(60,000)
		慶弔費	30,000
		交際費	40,000
		会議費	40,000
		印刷費	70,000
		団事務費	40,000
前年度繰越金	616,117	予備費	123,117
計	2,798,117	計	2,798,117

＊予算の各項目間の流用を認める。

尚、団事務費の中に銀行口座引落手数料が含まれています。

団会計　丹羽　武

平成７年度各隊指導者名簿（案）

	隊　長	副　長
カブ隊	西脇　孝典	岡本　健司 山本　茂 南　忠治郎 畑　秀悌生 サブ　福井　和雄
ボーイ隊	今井　喜明	入矢　徹雄 河合　豊
シニアー隊	榎本　信也	末吉　央伯 角井　輝信 遠藤　亘
ローバー隊	鶴田　茂一	西村　浩行 チーフ　河北

平成７年度団委員会名簿

団顧問　中川　恵三

育成会長　西村　泰一

団委員長　下坂　紀一

副団委員長　八木　生次

副団委員長
兼団会計　丹羽　武

団委員
服部　弘子
出口　善子
西脇　香代子
徳岡　宏武
板谷　洋子
五十嵐　達志
中川　裕子
北野　三佐子
竹本　篤子
福井　和美
中沢
岡本　佳子
江本　律子
入矢　保子

地区委員（組拡担当）八木　生次
地区委員（進歩担当）五十嵐達志

会計監査　園田隆三，西山豊太郎，